

令和6年1月10日

令和6年度予算（案）の伝達等について

令和5年12月22日に文部科学省から伝達のありました本学の令和6年度国立大学法人運営費交付金予定額及び令和6年度国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業等について報告します。

国立大学法人運営費交付金等
総額 35 億 5,584 万円 対前年度当初比 1 億 2,175 万円増

文部科学省より伝達のあった本学分の予算（案）に係るポイントは次のとおり。

● 教育研究組織改革分

デジタル・グリーン、地方創生、SDGs、国際化等への貢献を通じた各大学のミッション実現を加速するための組織設置や体制構築といった活動基盤の形成を推進する「教育研究組織改革分」について、国立大学全体に係る新規要求分の経費として85億円が計上された。

本学については、新規分として「水素エネルギー総合研究所（仮称）」の設置に係る経費が計上された。

新規分 2,779 万円（継続分と合わせると 1 億 6,070 万円）

● 基盤的設備等整備分

グリーン社会の実現、デジタル化の加速等を進めるための設備など、教育研究活動の維持・継続に必要な環境整備を推進するため、国立大学全体に係る経費として114億円が計上された。

本学については、共生システム理工学類「カーボンニュートラル実現のモデル研究と高度人材育成のための教育システム」の整備に係る経費が計上された。

9,100 万円

● 共同利用・共同研究拠点の強化

文部科学大臣が認定する「共同利用・共同研究拠点」及び「国際共同利用・共同研究拠点」における拠点としての基盤的な活動を支援するため、国立大学全体に係る経費として55億円が計上された。

本学については、環境放射能研究所が参画する「放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点」の基盤的な活動に係る経費が昨年度に引き続き計上された。

1,353 万円

- 障害学生支援分

障害のある学生の修学支援に関する検討会「検討会報告(第三次まとめ)骨子」を踏まえ、障害学生の受け入れにかかる体制整備を支援するとして、国立大学全体で3億円が計上された。

本学については、障害学生支援の取組を拡充するための事務職員人件費相当額が計上された。

790 万円

- 成果を中心とする実績状況による配分

教育・研究活動の現場における行動変容や法人全体としての経営改善に向けた努力を促すとともに、国立大学への公費投入・配分の適切さを国民・社会に示すため、教育研究活動の実績、成果等を客観的に評価しその結果に基づき配分を行う「成果を中心とする実績状況による配分」が昨年度に引き続き実施された。

国立大学全体の配分対象経費及び配分率は令和5年度と同一となり、1,000億円を対象として、配分率75%~125%で配分が行われた。

本学については、配分対象基礎額が3億2,724万円で設定され、相対評価の結果、1,570万円の減となる次の額が計上された。

3 億 1,154 万円

- 建物新営設備費

美術棟の改修工事に伴う設備費が計上された。

446 万円

- 移転費

美術棟の改修工事に伴う移転費が計上された。

382 万円

国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業

令和6年度当初予算には計上されず、令和5年度補正予算において次の事業が計上された。

令和5年度補正予算

- (金谷川) 保健管理センター改修 (単年度)
- (金谷川) ライフライン再生 (排水設備) (単年度)

(お問い合わせ先)

財務課予算係 金谷 光泰

電話: 024-548-8014

メール: zaimu@adb.fukushima-u.ac.jp